

リベラルアーツ学科

カリキュラムの特徴

リベラルアーツ学部は、4年間で3期、導入期（1年次）・発展期（2年次）・専攻期（3年次以上）と位置づけ、それぞれの目標である構想力・実践力・推進力の育成を実現させることができるよう、科目を配置しています。

- (1) すべての科目において、特に「言語・表現活動の充実」を基盤とし、「読む・書く・話す（発表する）・聞く」の4つのスキルを充実できるよう配慮しています。
- (2) 導入期では日本語・英語のコミュニケーション力・情報リテラシー、プレゼンテーションスキルなどの基礎力育成に特に力点を置き、さらには各専攻の入門科目を学ぶことで、多角的な視点から問題を追究する基礎力を養うことを目標としています。各自が専攻しようとする分野だけではなく、学際的に学ぶことで、幅広い研究の視点を養い、その中から各自の専攻分野を選択していきます。
- (3) 発展期では各自が決定した専攻（メジャー）の専門的な研究方法の入門・演習科目を複数の分野において学びます。実験・実習、フィールドワークや調査研究などさまざまな学びのスタイルを通して自らの課題に取り組み、各自の専攻分野の基礎を体系的に学びます。学外での実践を行うオフキャンパス・スタディーズ科目も開始されます。
- (4) 専攻期では少人数で行われるプロジェクトセミナーを中心に、学生が主体的に研究方法を培い、問題の発見、課題の解決、思考力を高めます。各自の専攻分野における専門科目と共に研究を深めていきます。
- (5) 卒業年次においては、各自の学習成果を社会に資するために、プロジェクト（卒業論文・卒業プロジェクト）に取り組み、各自の専攻分野において身につけたさまざまな力を活用し、研究成果をまとめ、発表します。
- (6) 4年間を通じて、多分野からひとつのテーマを考える講座（ブリッジ講座）を開講し、社会の最先端研究者や、実務者、専門家らの講義も含め、多角的に問題をみる視点を養うプログラムを提供します。
- (7) グローバルな社会に対応できるように、2言語（日本語・英語）で各自の専攻分野を論じる講座（Introduction to LA Education）を開講し、各自の専攻においても語学力を高めるプログラムを提供します。

1 専攻（メジャー）

基礎となる科目を学習した後、各自の目標にしたがって専攻（メジャー）を決定します。メジャーごとに指定された履修プログラムにより学習を進めます。ダブル専攻も可能です。

- (1) メジャーの登録
1年次7月（仮登録）→ 2年次7月（正式登録）→ 2年次1月（変更最終）→
3年次4月（最終決定）※以後変更はできません
- (2) 専攻（メジャー）の概要
 - ① 言語と教育

文化的歴史的背景をふまえた広い視野に立ち、多方面からの的確な情報収集能力かつ問題解決能力をもって、言語活用、教育、コミュニケーション力に長けた国際感覚の豊かな

人材を育成します

日本語コミュニケーションメジャーにおいては、(ア)中学校・高等学校の国語教員、(イ)日本語教師、(ウ)その他ビジネスの3方面において中核をなす人材の育成を目指します。

英語コミュニケーションメジャーにおいては、英語における文法、4技能を習得し(ア)中学校・高等学校の英語教員、(イ)小学校英語指導者資格取得者、(ウ)その他ビジネスの3方面において中核をなす人材の育成を目指します。

② 社会と文化

日本国内外を問わず、文化的歴史的背景をふまえ、現代の社会に関心を抱き、広い視野のもと、表現力、発信力に長けた国際感覚の豊かな人材を育成します。

日本学メジャーにおいては、広く日本の文化や歴史を理解し、自身の得た知識を国内外に正しく発信できる人材を育成します。

芸術表現メジャーにおいては、芸術の享受と実践を通して的確な理解力と表現力に長けた人材の育成を目指します。

社会学メジャーにおいては、多角的分野に対して批判的に考察し、社会の構成員としての当事者意識と責任感のもと、社会に対して主体的に関わる人材の育成を目指します。

③ 科学と技術

科学的根拠に基づいた広い視野に立ち、問題解決能力、データの数量的・統計的分析・処理能力に長け、科学的・実証的研究方法、情報技術を駆使し、積極的に情報発信できる人材を育成します。

心理行動科学メジャーにおいては、人間の心理と行動に深く関心を抱き、正しい情報の選択と解釈する能力をもち、教育や発達を支援し社会的問題を解決すること、自他の心身の健康を促進しwell-beingを高める能力をもつことのできる人材の育成を目指します。

科学技術コミュニケーションメジャーにおいては、現代の科学や技術に深く関心を抱き、自らが未知の問題に対して、検証する能力、多角的分野に対して科学的・合理的に考察し、判断する能力をもつ人材の育成を目指します。

2 オフキャンパス・スタディーズ

キャンパス外のさまざまな現場で実践的に学ぶことを奨励します。

各自が企画する個人プログラムと学部が提供するプログラムがあります。

オフキャンパス・スタディーズの単位認定に関する規定

(1) 対象科目

「フィールドワークA～C」「学外実践実習A～C」「海外特殊研究A～C」

「インターンシップA～C」「日本語教育実習A・B」「キャリア実践実習A・B」

(2) 受講条件

進度チェック、学習継続条件に抵触していないこと

- (3) 事前登録手続き
 セメスター初めに行われるガイダンスに出席する
 教務担当教員に履修申込書を提出する
 教務担当者会、主任会、教授会で審議のうえ 履修を許可される
 (実習) 原則として45時間を1単位とし実習を行う
- (4) 単位認定
 実習終了後次セメスターの履修登録期間に該当する科目を履修登録する
 報告書を提出するとともに報告会を開催する
 教務担当者会において最終単位認定審査を行う
 主任会・教授会の承認を経て単位認定する

卒業要件

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み8単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上を含み、合計14単位以上を修得していること
- ③ リベラルアーツ学科科目群のうち、導入科目群必修科目から26単位、発展科目群必修科目から2単位、専攻科目群必修科目から10単位を修得していること
- ④ 各専攻メジャー履修プログラムの指定された科目を含み、導入科目群の**必修選択**科目から6単位以上、発展科目群**必修選択**科目から10単位以上、専攻科目群**必修選択**科目から10単位以上を修得していること
- ⑤ 卒業見込みセメスターにおいて、「プロジェクト」を履修して各自の研究成果をまとめて提出し、発表も含めて、卒業プロジェクトの審査に合格すること
- ⑥ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑦ 上記要件をすべてを満たして、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

リベラルアーツ学科を卒業するためには、大学で規定する卒業に必要な総単位124単位を修得しなければなりません。

科目群	科目分類	必要単位	備考
ユニバーシティ・スタンダード科目群	玉川教育・FYE科目群	8単位	
	人文科学科目群 社会科学科目群 自然科学科目群 学際科目群 言語表現科目群(EFL科目を除く)	14単位以上 (4単位以上) (4単位以上) (4単位以上) 2(4単位以上) 任意	ブリッジ講座A,または 「Introduction to LA Education A」 より2単位
導入科目群	必修 選択 必選	26単位 6単位以上	
発展科目群	必修 選択 必選	2単位 10単位以上	※教職履修者 選択6単位以上 必選8単位以上
専攻科目群	必修 選択 必選	10単位 10単位以上	※教職履修者 選択8単位以上 必選8単位以上
関連科目群 教職関連科目群 他学部開講科目 単位互換科目	自由選択	任意	教育課程表(P154-155) 「English Grammar」～「民俗学研究」 より10単位(教職8単位)以上
卒業に必要な単位数		124単位以上	

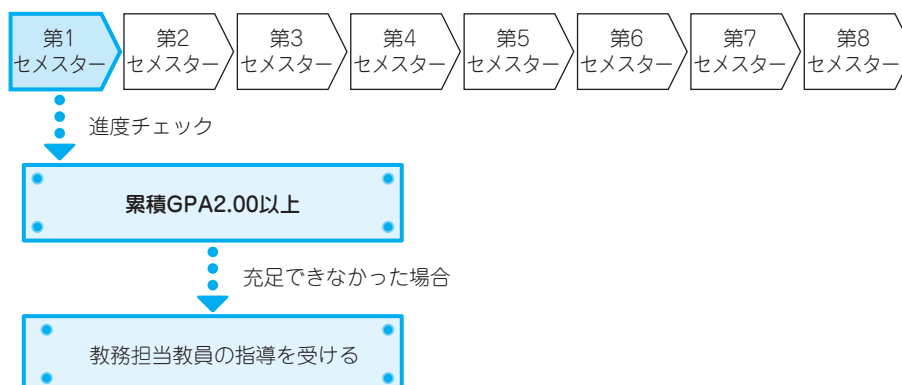
(注意) 教職課程履修者は、別(備考)に定める単位配分での履修になります。

履修上の留意事項

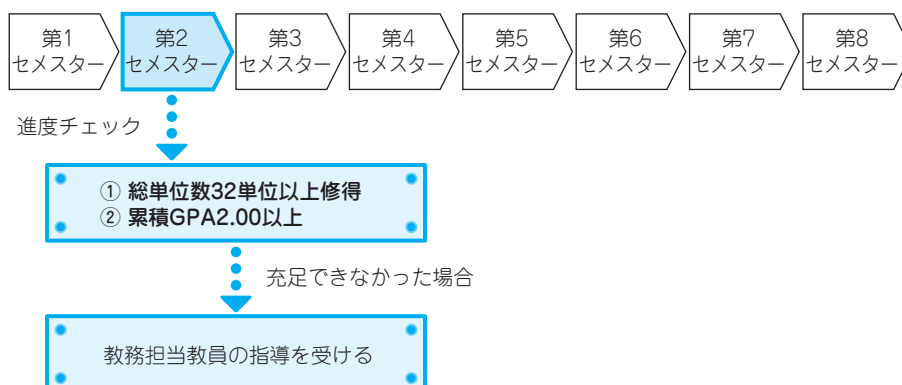
「プロジェクトセミナーⅠ」「プロジェクトセミナーⅡ」「プロジェクトセミナーⅢ」「プロジェクトセミナーⅣ」は、この順で履修しなければなりません。

履修条件

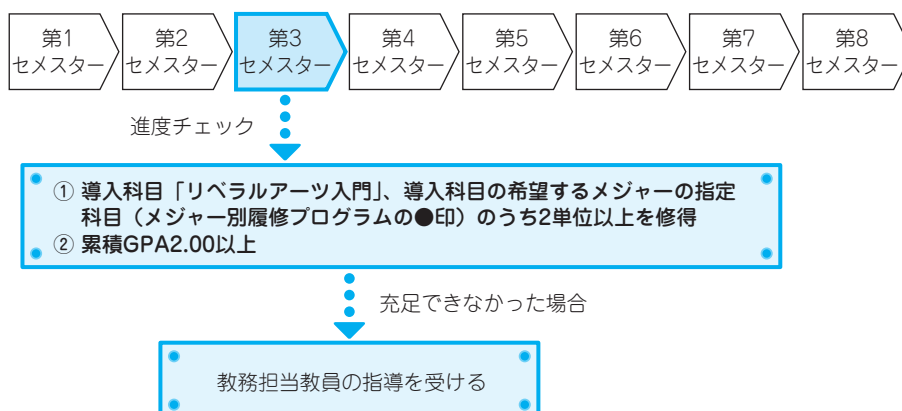
1 第1 Semester（1年次春）終了時における進捗チェック



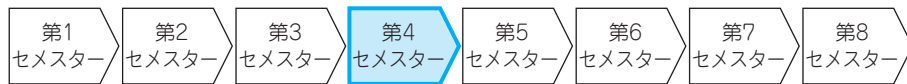
2 第2 Semester（1年次秋）終了時における進捗チェック



3 第3 Semester（2年次春）終了時における進捗チェック



4 第4 Semester（2年次秋）終了時における進捗チェック



進捗チェック

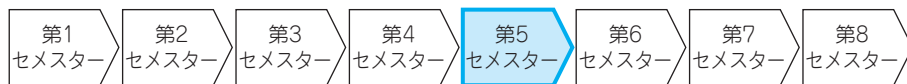
- ① 総単位数62単位以上修得
- ② 各自のメジャーの導入科目群指定科目（●印）をすべて修得
- ③ 累積GPA2.00以上

充足できなかった場合

- ① 「プロジェクトセミナーⅠ」を履修することができない
- ② 教務担当教員の指導を受ける



5 第5 Semester（3年次春）終了時における進捗チェック



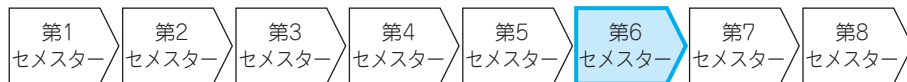
進捗チェック

- 累積GPA2.00以上

充足できなかった場合

- 教務担当教員の指導を受ける

6 第6 Semester（3年次秋）終了時における進捗チェック



進捗チェック

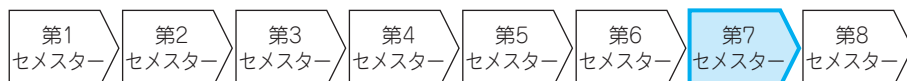
- ① 総単位数84単位以上修得
- ② 累積GPA2.00以上

充足できなかった場合

- 教務担当教員の指導を受ける



7 第7 Semester（4年次春）終了時における進捗チェック



進捗チェック

- 累積GPA2.00以上

充足できなかった場合

- 教務担当教員の指導を受ける

教職課程受講条件

受講許可条件	第2 Semester 終了時	累積 GPA が2.40以上であること
継続許可条件	第4 Semester 終了時	累積 GPA が2.40以上であること
	第6 Semester 終了時	① 教育実習事前指導が合格していること ② 「教師論」「教育の原理」「人間の発達と学習」「国語科指導法 I・II」もしくは「英語科指導法 I・II」の単位を修得していること

*ダブル免許プログラムは『教職課程受講ガイド』p. 9～10を参照すること。

*長期留学に参加した場合は、4年間での教育職員免許状の取得が困難となる場合があります。参加にあたっては必ず事前に相談してください。

資格

各資格修得のための履修要件は、別途定めます（174～175、187～189 ページを参照すること）

- * 日本語教員
- * 小学校英語指導者（J-SHINE）
- * 社会調査士
- * 認定心理士